

(社)全日本鍼灸学会

平成 20 年度 第 3 回理事会 会議議事録

□. 開催の日時及び場所

日 時：平成 20 年 10 月 5 日(日) 午後 3 時～5 時

場 所：日本鍼灸会館 2 階会議室（東京都豊島区南大塚 3-44-14）

□. 出席者

定足数の確認：理事総数 20 人

出席理事 16 人

欠席理事 4 人（安藤、内田、清水、山下）

委任者 4 人（安藤、内田、清水、山下）

計 20 人

出席監事 2 人（矢野、宮本）

オブザーバー 2 人（津谷顧問、形井参与）

議事録署名人：小松秀人、金井正博

書 記：菅原之人、大久保淳子、波田康

□. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭

挨拶：会 長 後藤 修司

議 長：会 長 後藤 修司

議事に先立ち、後藤修司会長から挨拶があった。

【審議事項】

1. 次年度各部事業計画案・予算案の検討

各部部长から平成 20 年度第 1 回常務理事会の審議事項を踏まえ、次年度の事業計画案・予算案の説明があった。

1) 総 務

福村事務局長より資料に基づき、諸会議の日程について説明があった。常務理事会の審議を踏まえ、6 月 12 日（金）の理事会を 11 日（木）に、10 月 18 日（日）の常務理事会・理事会・支部運営委員会を 10 月 25 日（日）に、3 月 21 日（日）の評議委員会、理事会、支部運営委員会を 3 月 22 日（月・祝）に変更とする旨の説明があり承認された。また、次年度の支部会議は廃止するが 6 月 13 日（土）12 時より支部運営会議を行うこと、それ以外の諸会議は予定通りの日程で行うことで承認された。

予算案については経理事務費 80 万を 100 万に増額することとし、その他すべて承認された。

2) 財務部

小川副会長より資料に基づき説明があった。公認会計士による会計指導をうけながら、適宜作業進めており今のところ特に問題はない。高木賞基金については特別会計に組み入れ、固定資産を減らしていくことで承認された。

3) 組織部

安雲組織部長より資料に基づき説明があった。事業計画案については資料通り承認された。予算案については支部学術講習会助成金 350 万を追加、広報事業費（30 万円）を組織運営費とし、メールマガジン発行費 50 万は削除することで承認された。

4) 学術部

北小路学術部長より資料に基づき説明があった。事業計画案についてはすべて承認された。予算案については、常務理事会の審議を踏まえ高木賞および奨励賞の盾の費用と副賞は高木賞基金から支出する事とするため、高木賞に関する予算は12万円とし高木賞奨励賞の10万円は削除する。支部学術講習会助成金の205万円は組織部からの支出とし、学術部予算から削除することで承認された。

5) 研究部

川喜田研究部長より資料に基づき説明があった。事業計画案についてはすべて承認された。予算案については常務理事会の審議を踏まえ研究部委員会費として10万円を計上し、用語委員会費として50万円を計上することで承認された。その他、上記の変更以外もすべて承認された。但し、用語委員会についての50万円の中から分担金を支払う（明細については調査を行う）

なお、国際シンポジウム積立金については研究部からではなく別扱いとし、第二次経穴委員会の費用については、データベース委員会予算から支出することで承認された。また経穴委員会はデータベース構築委員会として再編成することで承認された。

6) 編集部

野口編集部長より資料に基づき説明があった。事業計画案および予算案についてすべて承認された。

7) 国際部

若山国際部長より資料に基づき説明があった。事業計画案の追加事項として、次年度に韓国で行われる世界大会で理事会改選が行われる旨の説明があった。予算案については常務理事会の審議を踏まえ、2年後に行われる伝統医学国際大会に向けて予算を計上することで承認された。また第2回 JSAM 鍼灸国際シンポジウムについての説明があり、埼玉大会と併催するので、国際部と実行委員会とで参加費や学術大会とのスケジュール調整について検討を行っていくことで承認された。

世界鍼灸学会連合会 (WFAS) に関する会議については、The Foundation Meeting of the University Cooperation Working Committee of WFAS は各大学が対応することで承認された。

The WFAS Working Committee of Standardization of Acupuncture は、学会から WFAS に代表として形井先生、川喜多先生、若山先生、高澤先生に参加してもらう。会議では JIS 規格があることを主張し、行政（経済産業省・厚生労働省）にも参加してもらうよう働きかけ、日本理学療法器材工業会とも連携をはかっていくことで承認された。

8) 広報部

金井広報部長より資料に基づき説明があった。事業計画案については会員頒布用小冊子「臨床と基礎の交流」を広報部が中心となり、矢野先生、学術部、研究部、編集部と共に小冊子作成委員会をつくり、準備をすすめることで承認された。

予算案については、コンテンツマネジメントシステム (CMS) 導入初期費用120万は今年度に支出し、来年度予算案からは削除すること。会員頒布用小冊子作成費は、作成委員会費に費目を変更し10万円に減額することで承認された。

また、メールマガジンについても広報部で管理(コンテンツの作成は組織部)することとした。

以上、承認された。

2. 次年度認定委員会事業計画案・予算案の検討

福村事務局長から資料に基づき説明があった。事業計画案についてはすべて承認された。また、予算案については支部活動助成費を削除することとし、その他すべて承認された。

3. 公衆衛生関連学協会連絡協議会(仮称)入会の件

後藤会長から常務理事会において上記団体への参画(年会費3万円)が承認された旨の報告が

あった。担当は坂本副会長とする。

4. 日本スポーツ体育健康科学学術連合入会の件
後藤会長から常務理事会において上記団体への参画（年会費 5 万円）が承認された旨の報告があった。担当は坂本副会長とする。

以上、承認された。

5. 研究部旧安全性委員会活動の本出版について
形井参与より、山下理事から提出された資料に基づき説明があった。印税については全日本鍼灸学会の監修とする場合は学会 5 %、執筆者 5 %とする。著作権については学会に属することで承認された。
6. 隔月刊誌「東洋医学 鍼灸ジャーナル」（緑書房）への学術集会案内の掲載について
福村事務局長より説明があり、学会の広報活動として掲載を依頼することで承認された。
7. 録音資料制作の申込について（千葉県立西部図書館より）
野口編集部長より、視覚障害を持つ個人会員が千葉県立西部図書館へ学会雑誌の録音資料制作の依頼をしてきたので、該当する巻号に限って作成して良いか審議してほしい旨の説明があり、作成を許可することで承認した。
8. 第 57 回京都大会決算報告並びに監査報告
篠原実行委員長より資料に基づき第 57 回京都大会の決算報告があった。また、小川副会長より 9 月 20 日に前監査役の木村、小川両氏が監査を行い、問題なく監査を終えたとの報告があり、これを承認した。

9. その他

小川副会長より、今年度の予算について国際シンポジウムへの積み立てを 4 0 0 万に増額、CMS 導入に 120 万計上、公認会計士、アシスタントへの謝礼を追加計上したい旨の説明があり、すべて承認された。また矢野監事より、地方会の解散等で今後本部での事務作業が増えることが予想されるため、今後事務局体制の増強を図る必要があり、予算もそれを考慮して組むべきとの意見をいただいた。

日本東洋医学サミット会議（JLOM）より依頼のあった監事については、形井先生に就任していただくこととなで承認された。

以上、承認された。

【報告事項】

1. 各部中間事業報告(平成 2 0 年 8 月～平成 2 0 年 9 月)
 - 1) 事務局
福村事務局長より資料に基づき報告があった。
 - 2) 財務部
小川副会長より資料に基づき報告があった。
 - 3) 組織部
安雲組織部長より資料に基づき報告があった。
 - 4) 学術部
北小路学術部長より資料に基づき報告があった。
 - 5) 研究部
川喜田研究部長より資料に基づき報告があった。
 - 6) 編集部

野口編集部長より資料に基づき報告があった。

7) 国際部

若山国際部長より資料に基づき説明があった。

8) 広報部

金井広報部長より資料に基づき報告があった。

2. 認定委員会報告

福村事務局長より資料に基づき報告があった。

3. 日本統合医療学会認定資格要綱（仮）

後藤会長より日本統合医療学会からの認定を受ける資格は、はり師きゅう師に関しては JSAM の認定登録者となった旨の説明があった。

4. 支部運営委員会報告

安雲組織部長より理事会前に開催された第3回支部運営委員会について、各支部において学術集会を1回、支部指定研修A講座を3講座と支部指定研修B講座を少なくとも6講座は必ず実施することが確認され、その他細部については会議録を作成し運営の円滑を図ることが報告された。

5. 持ち回り理事会報告

福村事務局長より支部指定研修A講座の講師について全く別の研修内容とすることで同一人講師の2講座研修得点を認める提案があり、持ち回り理事会で承認された旨の報告があった。

6. 著作権譲渡契約締結(データベース関連)

川喜田研究部長より鈴鹿医療科学大学よりデータベース関連の著作権譲渡契約が正式に締結されたことが報告された。

8. 第58回埼玉大会準備・予算報告

山口大会長から挨拶を頂戴し、小俣実行委員長から資料に基づき報告があった。

以上、了承された。

以上をもって平成20年度第3回理事会の議事を全て終了した。

理事会の議事の経過要領およびその結果を証するため議事録を作成し、議長および議事録署名人は次に署名・捺印する。

平成20年10月5日

社団法人 全日本鍼灸学会 理事会

議 長

議事録署名人

議事録署名人